



☆ AWC事務局便り 5月号 ☆

伝統文化の継承を通し、地域の誇りの再認識を促す交流事業

タイの山岳民族は今も昔からの伝統的な暮らしを続けていますが、貨幣経済の浸透や他民族からの差別がいまだにあり、進学や就職で青少年が村を離れることも多い状況です。自分たちの文化に誇りを持つ人々も減少の傾向にあり、伝統文化の継承が難しくなっています。私たちアジアの女性と子どもネットワークは、タイの山岳地帯で様々な支援事業を続けていく中で、彼らのアイデンティティが失われていくことに危惧を感じてきました。しかし、外国人である私たちが民族の誇りを持つことの重要性についてどのように伝えたら良いかがわからず、長い間この課題の解決の糸口を探し続けてきました。

そんな中、震災復興支援の縁で宮城県女川町の熊野神社の氏子の方々の獅子舞と出会いました。女川町ではお正月やお祭りの時に獅子舞が家々を回り無病息災を祈る伝統が今も引き継がれており、子どもたちにもこの伝統や風習を伝承させることに力を入れています。東日本大震災の時には氏子の方々も、家族や家を失うなどの甚大な被害を受けてしまいましたが、獅子舞が心の拠り所となり、犠牲者への鎮魂の祈りを込めた演舞を心を込めて続けておられ、力いっぱい演舞は地域の人々の復興への活力の源ともなっています。震災後は子どもたちが自発的に獅子舞に参加しており、参加する子どもの数も増えています。獅子舞には言葉は必要なく、舞台上での演舞にとどまらず会場を練り歩き、観客を巻き込みながらの踊りは、見ている人も演じている人も両方を元気にする力があります。

女川の獅子舞とタイの山岳民族の人たちとの交流の機会を設け、文化の重要性を見直すきっかけを作りたいと考え、国際交流基金の助成に申請し、この度交付が決定しました。来る7月25日から一週間、女川熊野神社氏子の方々(大人3名・子ども4名)と一緒にタイに行きます。

獅子舞の演舞を山の村の人々に見て頂くと共に、タイの山岳民族の伝統の踊りなども披露してもらい交流することで、双方の視野を広げる場を作り、演じる人も見る人も、全ての人々をエンパワメントできる事業としていきたいと思えます。



ご協力をお願い

「伝統文化の継承を通し、地域の誇りの再認識を促す交流事業」は、助成金の他に、AWCからの資金が必要です。国境を越えた交流事業のために

ご寄付をお願い申し上げます。

郵便振替 00200-0-4109

口座名：AWC

※備考欄に「ししまい」とお書き下さい。



あーすフェスタかながわ2008に参加します

本郷台のあーすプラザで開催される「あーすフェスタかながわ2018」に今年もブースで参加します。世界各国の料理、踊り、歌、ゲームなどを体験できます。是非お出かけください。

日時：5月19日(土)・20日(日) 10:00~17:00